

平成30年度 二本松北小学校 学校評価報告書

【教育目標】

○心豊かな子ども ○進んで学習する子ども ○明るく健康な子ども

【自己評価結果】

A・・・十分達成 B・・・おおむね達成 C・・・課題がある D・・・おおいに課題がある

重点目標	評価	達成状況	次年度の改善策
仲よく助け合う子ども 互いのよさを認め合い、	B	○あいさつや言葉遣いについては、児童及び保護者アンケートの結果も昨年度より向上が見られ、取組の成果が出ている。 ○学級活動(学級会)の取組により、児童同士が互いにかかわり合い、よさを認め合う雰囲気醸成が向上している。QU結果から、学級によっては課題が見られる。	○あいさつ運動をこれまで通り継続して実施し、あいさつができる学校の雰囲気を高めていく。 ○道徳と学級会活動の授業を重視し、年間を通して児童同士が互いのよさを認め合うことができるようにしていく。 ・授業参観での保護者と連携した道徳授業 ・子どもが主体となって運営する学級会
子ども 自ら学び、考え、共に高め合う	B	○「学び合い」のある授業の推進により、児童の学習意欲は高まっている。ペアやグループでの学習もできるようになってきている。児童及び保護者アンケートの評点も昨年度より高くなった。 ○保護者アンケートでは「進んで家庭学習に取り組んでいない」との回答は依然多いが、昨年度より評点は高くなっており取組に一定の成果が見られた。	○学ぶ意欲を育てるために下記を重点化する。 (低)めあてを意識しながら学ぶ (中)めあてを意識しながら考えたことを書いたり、話したりする。 (高)学びをふり返り、そこから新たな問いを持つ。 ○自己マネジメントを駆使した家庭学習にする。 (低)家での学習の仕方の指導徹底 (中)家庭学習内容のふり返り(月1) (高)家庭学習の計画・内容のふり返り(月2)
も ともに健康な子ども 生命を尊び、心身	C	○体力テストの結果から学校全体の体力低下傾向が顕著である。 肥満傾向児童の保護者に生活習慣改善の通知と医療機関への受診を勧めた。	○体育の授業の充実を図る。 ・「伸びる北っ子」による記録を累積し、目標を持って体力向上に主体的に取り組むようにする。 ・体育の授業における運動量の確保と身体運動プログラムの確実に実施する。
し、子ども の安全を守る 保護者や地域の方々と連携	A	○北っ子あいさつ見守り隊の募集を地域の各種団体と連携して行い、120名を超える協力者を得ることができた。 ○北小学校の教育を語る会を3回実施し、地域から様々な意見をいただいた。地域ボランティアを積極的に活用すべきとの意見を具現する形で、二本松婦人会による家庭科の授業支援が実現した。	○北っ子見守り隊が安定的に継続できるよう規約等の設定について協議を進める。 ○地域の安心・安全を確保子どもの安全指導を徹底する。 ・集団登校の指導強化 ・廊下歩行、教室移動等の実地指導の強化
学校関係者評価	B	○北っ子見守り隊が拡充されたことは、大きな成果である。今後も地域と学校が連携して、子どもの安心・安全を守る体制を強化してほしい。 ○婦人会の授業支援がのべ120名。地域と学校の連携が進展するきっかけとしてほしい。地域ボランティアがより多く学校に関わることにより、児童と地域住民とがつながっていくと考える。 ○不登校及び不登校傾向児童については、保護者や関係機関と連携し学校一丸となって解決に向けて前進してほしい。	